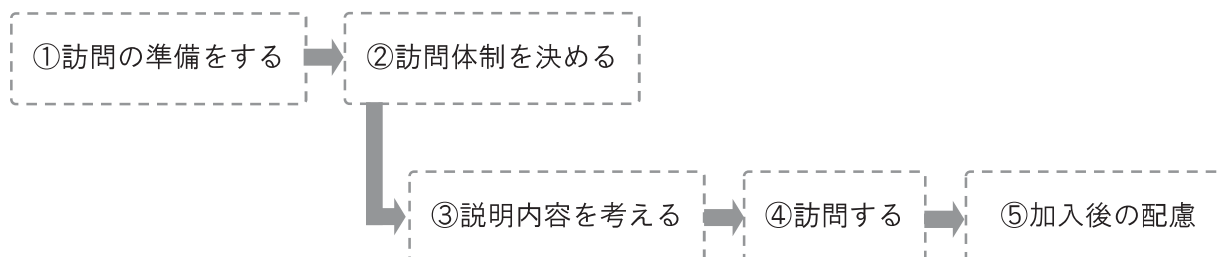


Ⅱ章 - 自治会等への加入を促進しよう

【訪問】

加入を促す上で最も大切なことは、自治会等の活動を知ってもらうことです。活動内容やメリットを十分に理解してもらえると、加入につながりやすくなります。各世帯への訪問は、直接それを説明できるよい機会であり、訪問したことで加入に至る場合が多いため、基本となる取り組みといえます。訪問の流れを意識し、効果的に加入を促しましょう。

訪問の流れ



①訪問の準備をする

活動内容や組織体制の説明などを行う時は、口頭のみで説明するより、資料をあわせて提示する方が伝わりやすく、理解もされやすいです。

準備するもの(例)

◆あいさつ文

新規転入者には、自治会一同で歓迎しているという気持ちを表しましょう。

参考例 P. 29 参照

◆自治会加入案内チラシ・加入申込書

チラシは絵や写真などを使い、自治会等の活動の雰囲気が伝わるものを作成しましょう。

加入申込書には自治会運営に必要な項目を用意し、個人情報の取り扱いに配慮した一文を添えるとよいでしょう。

参考例 P. 36~37 参照

◆訪問者の名刺

自治会長や班長などの連絡先を記載し、訪問した世帯が自治会等と連絡を取れるようにしましょう。

◆自治会等規約・役員名簿

自治会等の組織体制を説明する時に使います。

◆総会資料・広報紙

自治会等の実際の活動が具体的にわかるものを用意しましょう。

『自治会・町内会ガイドブック』 P. 32 参照

◆ごみカレンダー

ごみの収集は、生活への関わりが深く、未加入者が関心を持つきっかけになりやすいです。

☑ もうひとつ工夫



資料をきちんとファイリングして、訪問した世帯に渡すなど、細かな配慮をすることでよい印象を持ってもらいやすくなります。

②訪問体制を決める

訪問の準備をしたら「いつ」「誰が」「何人で」訪問するかを決めましょう。

◆訪問時期

- ・転入世帯への訪問は、居住開始後、間を置かずに行うと効果的です。
- ・以前から未加入の世帯には、行事等の開催に合わせて訪問しやすくなります。

◆訪問時間

- ・食事時や夜間はなるべく避け、相手が対応しやすい時間帯を選びましょう。
- ・初回に時間をかけすぎると、かえって逆効果になる場合があります。簡潔な説明を心がけましょう。二度目の訪問をする場合は、相手の都合を聞いて訪問しましょう。

◆訪問者

- ・自治会長や班長など、各自治会等の体制や実情に応じて決めましょう。また、初回の訪問で加入を拒否された場合には、訪問者を変えるなど工夫をしてみましょう。

◆訪問人数

- ・慣れないうちは複数人での訪問も検討してみましょう。

③説明内容を考える

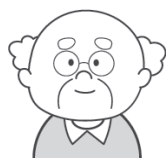
訪問体制を決めた後は、訪問時に何を伝えるかを考えましょう。

- ・行事や活動内容を説明するとともに、災害時に大きな力となる自治会等のメリットを伝え、関心を持ってもらうことが大切です。また、集会施設の維持補修など、地域のみみんなのために会費が役に立つことを伝えましょう。
- ・新規転入世帯の場合は、居住開始直後に訪問し、ごみ出しのルールについて説明すると、自治会等の必要性を認識してもらいやすいです。

④訪問する

訪問時のやりとりの一例です。自治会等の状況に応じて説明内容を変更し、活用してください。

1回目




こんにちは。私は〇〇自治会の会長（役員）の〇〇です。本日は自治会の説明に伺いました。資料をお持ちしましたのでご覧ください。

ありがとうございます。




当自治会では〇〇や〇〇などの活動を通して、助け合いができる近所づくりを目指しているのです。何かお力になればと思います。

※防犯、防災、親睦活動などの実際に行っている活動の説明をしましょう。




いろんな活動をされていますね。




はい、住民の皆さんも楽しく活動に参加してくれています。
特に〇〇祭りなどは子どもがたくさん来て賑わっていますよ。是非、参加して楽しんでいただけたらと思います。

※できるだけ会話をして信頼関係をつくと、加入のお願いがしやすくなります。



おもしろそうですね。今度参加してみます。



他に何かわからないことはありませんか？
簡単な説明になりましたが、ぜひ〇〇自治会にご加入ください。

※説明後の反応によって、対応のしかたが変わってきます。

◇加入の意思表示があった場合

その場で申込書に記入してもらいます。

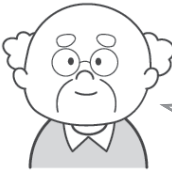
◇加入について決めかねている場合

資料を渡し、「後日、再度お伺いしますのでご検討下さい。」と伝え、交渉記録を残します。

◇初めから自治会等を否定する場合

まず相手の言い分を聞き、理解できる部分については共感しましょう。打ち解けられたら地域の状況を説明し、今後の自治会活動に協力いただきたいということを伝えましょう。

2回目



先日お伺いしました自治会の〇〇です。自治会の加入について、ご検討いただけましたでしょうか？

◇加入の意思表示があった場合

その場で申込書に記入してもらいます。

◇加入について決めかねている場合

相談に乗るなど、決めかねている要因を確認することが大切です。しかし、相手が負担に感じてしまうと逆効果になるので、状況によっては少し期間をあげたり、訪問者を変えるなどの対策を講じましょう。

⑤加入後の配慮

新規加入者を、総会や役員会で紹介したり、日ごろからあいさつや声かけをするなど、できるだけ早く自治会等になじめるよう配慮しましょう。新規加入者が安心して地域で過ごせるようにすることで退会予防にもつながります。

【退会予防の取り組み】 P. 16 参照



Q & A

訪問時によくある質問（例）

Q1. 自治会とは何ですか？

A. 同じ地域の住民が、お互いに親睦を図りながら、さまざまな活動を行うことで、自分たちの地域を住みよいまちにしていこうと決めた自主的な任意の団体です。

Q2. 必ず加入しなければいけませんか？加入するとどんな利点がありますか？

借家に単身（または学生）で、一時的に住んでいるだけなのですが…

A. 防災訓練や防犯パトロールは安全の確保、ごみステーションの管理や定期的な美化・清掃活動は住みよい環境づくりにつながるなど、自治会は生活に役立っています。また、市の広報紙など行政情報、地域で作成する情報誌やチラシが配布され、身近な生活情報が入手できます。大きな災害のときは、救助隊の到着まで、自分たちの生命・安全を自分たちで守らなければなりません。日ごろから「いざ」という時に近隣の皆さんと助け合える環境をつくっておきましょう。

Q3. 個人情報は適切に管理されていますか？

A. 責任を持って厳重に管理・保管し、ご本人の承諾なしに、第三者へ提供いたしません。

Q4. 会費が払えないのですが…

A. 会費の納付方法や減額などを、役員会で検討することもできます。

Q5. 高齢で役員は荷が重いのですが…

A. 年齢や生活スタイルなどで困難な方は免除するなど、対応を役員会で検討することができます。